

河川概要図

河口



上流



中流



国道23号下流



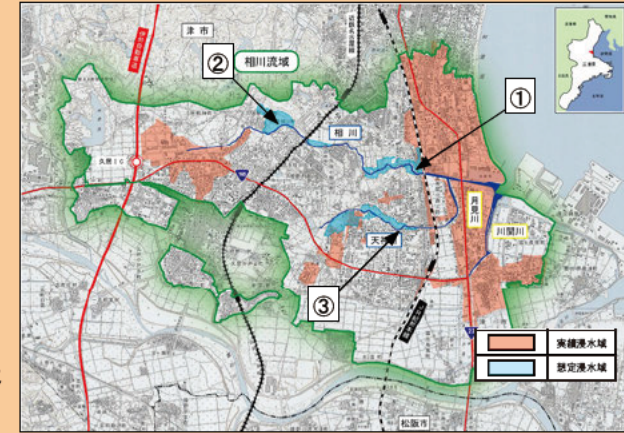
既往の浸水被害

・文献によると、昭和28年9月の被害は台風13号による豪雨と高潮によって堤防が決壊し、80戸の民家と30町歩の田畑が浸水したということである。

・平成16年9月降雨では、溢水及び内水による浸水被害が発生した。流域内では、下流部及び上流部で浸水被害が発生した。

- ・水害原因: 内水及び溢水
- ・床上浸水: 33戸
- ・床下浸水: 180戸
- ・最大時間雨量: 98mm (津雨量観測所)
- ・ピーク水位: 4.0m (藤方水位観測所) (ゼロ点高: T.P.0.0m)

出典: 水害統計
津市(旧久居市報告資料)



浸水状況図

既往の浸水被害(平成16年9月 台風21号)



相川の状況(左:出水時 右:通常時)



相川橋の浸水(左:出水時 右:通常時)



高茶屋地区の浸水(左:出水時 右:通常時)

【津雨量観測所の観測値で確率規模を評価】

- ・平成16年9月降雨における洪水到達時間内(82分)降雨強度94.1mm/hr (125.5mm/80min)
- ・津雨量観測所の1/100確率水文学量95.8mm/hr以上より、平成16年9月降雨は河口部で概ね1/100相当と評価
- ・上記を踏まえ、基本方針では、本川1/100、支川1/50として基本高水流量を設定している。

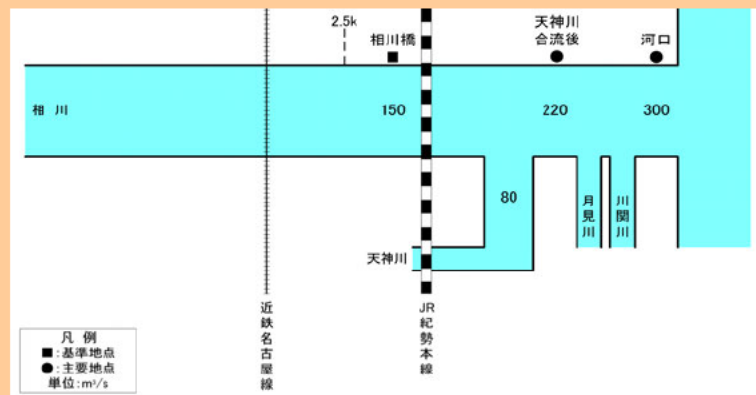
河川整備計画の目標に関する事項

●河川整備計画の計画対象期間

・計画対象期間は概ね30年間とする。

●洪水・高潮による災害の防止または軽減に関する目標

・過去の流域内の浸水被害や流域内のバランス等を考慮し、相川本川のうち、市街地を流下する築堤河道区間(河口から2.5k)と支川の天神川(0.9kから1.7k)は概ね1/20、相川中上流の山付部、農地を流下する掘込み河道区間(2.5kから5.5k付近)は1/5の降雨に対し被害を防ぐことを目標とし、基準地点相川橋において150m³/sの流量を安全に流下させる河道を整備する。



整備計画流量配分図

●河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

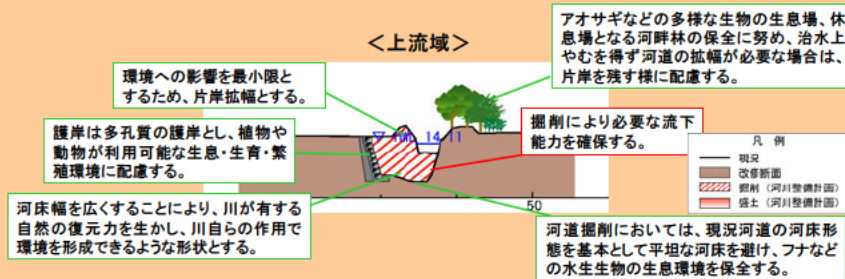
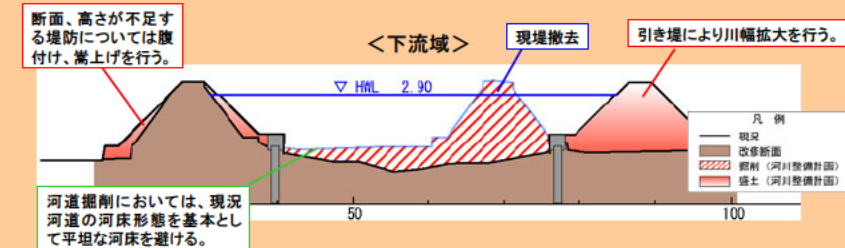
・現在流況における特段の問題は生じていない。
・今後とも関係機関との連携のもと、適切な水利用が図れるよう努める。

●河川環境の整備と保全に関する目標

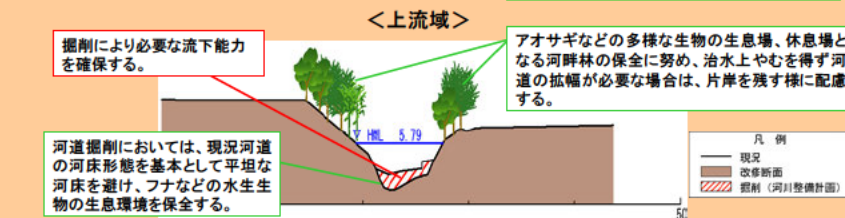
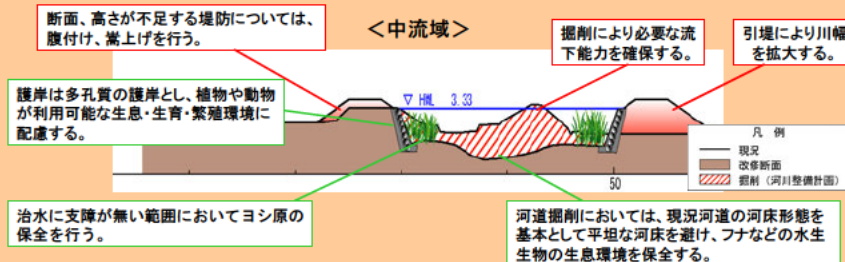
・流域内河川の自然環境及び河川利用の実態把握に努め、治水・利水面との調和を図りつつ、河川が本来有する動植物の生息・生育・繁殖環境の保全と整備に努める。

主要工事の概要

【相川整備イメージ】



【天神川整備イメージ】



整備内容

●河川整備の内容

【相川】 0.0k～5.5k : 引堤、築堤、河床掘削、護岸整備
橋梁・堰改築

【天神川】 0.0k～3.0k : 引堤、築堤、河床掘削、護岸整備
橋梁・堰改築

●維持管理内容

・災害発生の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、河川の有する多面的機能を十分に発揮させるため適切に行う。

費用対効果(B/C)

●費用便益比=総便益(B)/総費用(C)

$B/C = 525.75 \text{ 億円} / 57.297 \text{ 億円} = 9.18$

整備計画策定経緯



流域委員会開催状況



流域懇談会開催状況